



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月8日

上場会社名 リックス株式会社
 コード番号 7525 URL <https://www.rix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安井 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 苅田 透
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福
 TEL 092-472-7311

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	26,323	18.4	1,167	36.4	1,285	34.6	875	31.8
2020年3月期第3四半期	32,270	4.4	1,834	9.0	1,966	9.4	1,283	12.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,068百万円 (12.0%) 2020年3月期第3四半期 1,214百万円 (17.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	107.18	
2020年3月期第3四半期	157.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,569	17,149	58.9
2020年3月期	30,326	16,417	53.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 16,821百万円 2020年3月期 16,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		30.00	60.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日(2021年2月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,400	18.1	1,630	36.8	1,750	35.7	1,160	36.5	141.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細につきましては、添付資料9ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	8,640,000 株	2020年3月期	8,640,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	469,425 株	2020年3月期	469,425 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	8,170,575 株	2020年3月期3Q	8,170,644 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、世界経済は、一部の国では新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、いち早く企業活動や経済動向の正常化が進んでいますが、ワクチンの承認・供給の遅れ、感染拡大がより一層深刻化し、一部地域でロックダウンとなっている国も多く、経済活動の長期停滞も懸念されるなど、依然として先が見通せない状況で推移しました。

一方、日本経済は、国内外での新型コロナウイルス感染再拡大を受け、製造業・非製造業ともに企業の景況感が大幅に悪化し、それらを背景に設備投資の先送りや規模縮小が生じるなど、依然として厳しい状況の推移となりました。

このような経済環境の中、当社グループでは引き続き中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」に基づく施策に取り組み、第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高263億23百万円（前年同期比18.4%減）、営業利益11億67百万円（同36.4%減）、経常利益12億85百万円（同34.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億75百万円（同31.8%減）という結果になりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、世界粗鋼生産量が前年を5年ぶりに下回るなど、厳しい状況で推移しました。世界的には落ち込みが見られる同業界の中で、中国は新型コロナウイルス感染症の打撃から生産活動が回復しており、需要は回復傾向にあります。

日本国内においては、粗鋼生産量は前月比で回復傾向にあるものの、前年割れの状況は継続しています。しかしながら、自動車や家電といった主要な製造業向けの需要は回復傾向で推移し、需要の急減を受けて停止されていた高炉も再稼働するなど、回復の兆しをみせました。

当社グループにおきましては、『安全・防災・自動化への対応』や『メンテナンス・修理・再生サービスの拡充』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、製鉄所安全設備や製鋼工程向け解体機、熱延工程水処理設備向けプランジャーポンプの受注は好調であったものの、製鋼用副資材やバルブ、厚板工程向け圧延ロール、ジャバラ等の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は81億73百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

(自動車業界)

同業界では、新型コロナウイルス感染症の経済活動への深刻な影響を受け、自動車部品調達難や工場の稼働停止などで大幅に減少していた自動車生産台数は回復傾向にあります。欧州や北米は新型コロナウイルス感染症の再拡大で不安が残るものの、中国市場は需要回復が進んでおり、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

また工作機械においては、国内および北米での一部設備投資の冷え込みが継続しているものの、中国市場が回復の兆しをみせ、全体的な需要動向も最悪期を脱するなど、緩やかな回復傾向で推移しました。

当社グループにおきましては、『顧客開発部門との協働』や『製造工程の自動化対応』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、国内および北米自動車部品メーカー向け超硬加工部品や自動車メーカー向け自動化装置、精密加工部品の引き合いが強かったものの、自社洗浄装置やポンプ類、工作機械業界向けの自社継手製品や自社浮上油回収機の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は64億円（前年同期比22.1%減）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、5G普及を背景にした電子部品の需要は好調で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた自動車の電装化・電動化を背景とした電子部品・半導体の需要も回復するなど、総じて好調に推移しました。

当社グループにおきましては、『メーカー機能・修理サービス事業強化』や『車載用半導体分野の開拓』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、自社微粒化装置や半導体製造装置修理の受注は落ち込んだものの、電子・半導体メーカー向けセラミックス加工品、電源設備修理や自社継手製品の受注が伸長し、前年同期の実績を上回る推移となりました。

この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は32億29百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

同業界では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた工場の一時的休止や、世界的な自動車販売の落ち込みで新車用・市販用とも大幅に落ち込んだ需要が底打ちし、北米や欧州・東南アジアで回復の兆しをみせるものの、不安定な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、『未来の環境対応車用タイヤへの対応力強化』や『海外事業拡大』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、ポンプやシール類の受注は伸長しましたが、タイヤ加硫機用バルブの受注が大幅に落ち込んだことに加え、ショットブラスト装置や断熱板の受注も落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は15億95百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

(高機能材業界)

同業界では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生産設備の稼働減が続き、航空機や一般工業向け需要も低迷するなど低調に推移しました。

当社グループにおきましては、『炭素繊維・高機能ガラス・樹脂フィルム分野への深耕』を課題として諸施策に取り組んだ結果、硝子メーカー向けに洗浄装置、製薬会社向けにポンプユニットの受注は伸長しましたが、非鉄金属メーカー向けに廃棄物処理プラントの受注が大幅に落ち込んだことに加え、同じく非鉄金属メーカー向けに削岩機器類の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は12億27百万円（前年同期比35.8%減）となりました。

(環境業界)

同業界では、外需・製造業・非製造業が大幅に落ち込んだものの、官公需が好調を維持し、回復傾向で推移しました。

当社グループにおきましては、『水処理関連事業の拡大』や『エネルギー分野への対応強化』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、下水処理施設向けに免振配管設備や配管修繕工事等を受注したほか、環境プラントメーカー冷却設備向けにダンパ、ジャバラや自社継手製品の受注も伸長し、前年同期の実績を上回る推移となりました。

この結果、環境業界向け全体としての売上高は12億64百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

(紙パルプ業界)

同業界では、ネット通販向けに段ボール原紙、新型コロナウイルス感染症の影響で家庭紙や紙容器などの需要が好調であるものの、ペーパーレス化による需要の減少は加速しており、厳しい状況にあります。

当社グループにおきましては、『ケミカル素材分野への深耕』や『メンテナンスビジネス推進』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、製紙会社調薬設備の修理や抄紙工程のメンテナンスを受注したものの、大型案件の受注に乏しく、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は5億74百万円（前年同期比24.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.0%減少し221億63百万円となりました。これは、主にたな卸資産が2億43百万円増加し、一方で、売上債権が23億20百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し64億6百万円となりました。これは主に投資有価証券が2億31百万円増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、285億69百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20.2%減少し100億56百万円となりました。これは、主に仕入債務が17億64百万円、未払法人税等が2億48百万円、その他が6億99百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し13億64百万円となりました。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて17.9%減少し、114億20百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%増加し171億49百万円となりました。これは、主に利益剰余金が5億40百万円、その他有価証券評価差額金が1億93百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績につきましては、第2四半期決算時点では、特に国内において新型コロナウイルス感染症の影響による景気の低迷が継続すると想定しておりましたが、各業界とも徐々に回復の兆しがみられます。自社製品においては、主力製品である工作機械用回転継手が工作機械受注の回復に伴い増加傾向にあり、また海外においても、中国や米国の子会社で回復傾向が継続しています。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想を修正いたします。

また、業績予想を上方修正したことに伴い、期末配当予想も修正いたします。

詳細につきましては、本日(2021年2月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,505,579	6,575,889
受取手形	1,190,081	845,296
電子記録債権	2,072,633	2,311,340
売掛金	12,355,280	10,140,982
有価証券	-	50,000
商品及び製品	1,303,450	1,447,428
仕掛品	183,790	267,428
原材料及び貯蔵品	153,222	169,301
その他	339,151	356,426
貸倒引当金	△828	△729
流動資産合計	24,102,360	22,163,363
固定資産		
有形固定資産	3,019,069	3,003,773
無形固定資産	135,701	132,746
投資その他の資産		
投資有価証券	2,346,859	2,578,667
その他	750,584	717,525
貸倒引当金	△27,644	△26,116
投資その他の資産合計	3,069,799	3,270,075
固定資産合計	6,224,571	6,406,595
資産合計	30,326,931	28,569,959
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,158,389	638,131
電子記録債務	3,978,104	3,742,641
買掛金	4,030,573	3,022,279
短期借入金	1,762,426	1,621,100
1年内返済予定の長期借入金	21,600	21,600
未払法人税等	310,385	61,760
賞与引当金	-	250,435
役員賞与引当金	-	59,460
その他	1,338,525	639,399
流動負債合計	12,600,005	10,056,809
固定負債		
長期借入金	313,600	297,400
役員退職慰労引当金	228,670	256,185
退職給付に係る負債	550,692	555,311
その他	216,507	255,182
固定負債合計	1,309,471	1,364,080
負債合計	13,909,476	11,420,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	1,057,212	1,057,212
利益剰余金	14,355,309	14,895,589
自己株式	△407,593	△407,593
株主資本合計	15,832,828	16,373,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	255,442	448,584
為替換算調整勘定	5,919	△12,153
退職給付に係る調整累計額	15,949	12,322
その他の包括利益累計額合計	277,310	448,753
非支配株主持分	307,317	327,206
純資産合計	16,417,455	17,149,069
負債純資産合計	30,326,931	28,569,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	32,270,540	26,323,570
売上原価	25,365,147	20,428,081
売上総利益	6,905,392	5,895,489
販売費及び一般管理費	5,070,720	4,728,468
営業利益	1,834,671	1,167,021
営業外収益		
受取利息	4,906	9,454
受取配当金	54,362	46,022
持分法による投資利益	22,953	15,565
不動産賃貸料	15,263	11,017
為替差益	11,113	-
投資事業組合運用益	2,220	4,489
その他	33,898	55,362
営業外収益合計	144,719	141,910
営業外費用		
支払利息	8,651	12,643
為替差損	-	6,352
その他	4,602	4,541
営業外費用合計	13,253	23,537
経常利益	1,966,136	1,285,394
特別利益		
固定資産売却益	312	168
投資有価証券売却益	6,150	2,150
投資有価証券清算益	-	7,572
保険解約返戻金	1,174	4,901
特別利益合計	7,637	14,793
特別損失		
固定資産売却損	288	2,989
固定資産除却損	9,276	1,661
投資有価証券評価損	6,808	9,989
会員権評価損	15	-
特別損失合計	16,388	14,640
税金等調整前四半期純利益	1,957,384	1,285,546
法人税等	653,426	395,112
四半期純利益	1,303,958	890,433
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,482	14,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,283,476	875,745

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,303,958	890,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,720	205,564
為替換算調整勘定	△54,365	△24,920
退職給付に係る調整額	△6,952	△3,626
持分法適用会社に対する持分相当額	572	946
その他の包括利益合計	△89,465	177,964
四半期包括利益	1,214,492	1,068,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,189,766	1,047,189
非支配株主に係る四半期包括利益	24,726	21,209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したRIX North America, LLC. を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	高機能材	環境	紙パルプ	計
売上高								
外部顧客への 売上高	10,215,579	8,216,988	3,007,022	2,362,357	1,914,097	1,128,019	763,474	27,607,540
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,215,579	8,216,988	3,007,022	2,362,357	1,914,097	1,128,019	763,474	27,607,540
セグメント利益	1,044,859	555,175	199,642	138,561	172,351	115,694	94,215	2,320,500

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	4,662,999	32,270,540	—	32,270,540
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	4,662,999	32,270,540	—	32,270,540
セグメント利益	571,151	2,891,652	△1,056,981	1,834,671

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △1,056,981千円には、内部利益 435,982千円、連結消去 369,203千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △1,862,167千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	高機能材	環境	紙パルプ	計
売上高								
外部顧客への 売上高	8,173,875	6,400,605	3,229,454	1,595,712	1,227,925	1,264,784	574,556	22,466,913
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,173,875	6,400,605	3,229,454	1,595,712	1,227,925	1,264,784	574,556	22,466,913
セグメント利益	729,426	421,632	209,477	75,640	119,809	94,634	72,031	1,722,653

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	3,856,657	26,323,570	—	26,323,570
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	3,856,657	26,323,570	—	26,323,570
セグメント利益	327,486	2,050,140	△883,118	1,167,021

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △883,118千円には、内部利益 473,768千円、連結消去 281,980千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △1,638,867千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。